

平成21年度ふるさと子ども夢学校現地研修会・東北ブロック 参加者事後アンケート集計表

■ふるさと生活体験に期待する効果について(回答者の意見の集約結果)

- ・「生きる力」(自発性、視野の拡大、感謝の心、コミュニケーション能力)の育成。
- ・農林水産業への関心、食の大切さやその生産者の苦労を自覚し、感謝することへの期待も多くみられた。
- ・自分や自分の置かれた環境(家族、ふるさと、日本ならではの伝統的な古き良き生活習慣や価値観など)について考え直すきっかけづくり。

■今後の課題(回答者の意見の集約結果)

- ・③授業時間数の不足、⑦金銭面の負担、が注目されていた。③に関しては、各学校ではすでに総合的な学習の時間は一定の(地域学習など)カリキュラムが組まれていることが多いのに対して、子プロを見据えたカリキュラムの組み方に対する教委からのアドバイス等がないことが課題となっている。⑦に関しては、継続実施が求められる中で、補助金の出し方に問題がある。
- ・PR活動(DVDの配布など)にいつそう取り組んでいく必要があり、特に関係者に留まらず国民一般の理解・同意を得たいとされている。教員に関しては、研修機会を拡大させる必要がある。
- ・受入側は、プログラムの切り売りにならぬよう、「生活」体験であることを重視し、商業化・プロ化されないほうがいいのではないかと意見があった。

参加者の所属・役職・氏名		1. ふるさと生活体験によって期待される効果とは	2. 小学校におけるふるさと生活体験の普及について				3. 小学校において「ふるさと生活体験」を普及させるための課題	4. 今後、小学校において「ふるさと生活体験」を普及させるために求められること	5. この取り組みに対してご意見がありましたら、ご自由にお書き下さい。
所属	役職		所属校で実施したいか	その理由	小学校においてふるさと生活体験を普及	その理由			
回答項目		自由回答	①ぜひ実施したい ②まあまあ実施したい ③どちらでもない ④あまりしたくない ⑤全くしたくない	自由回答	①ぜひさせたい ②まあまあさせたい ③どちらでもない ④あまりさせたくない ⑤全くさせたくない	自由回答	①教員の負担 ②指導に自信がない ③授業時間数の不足 ④教育内容の未履修 ⑤教育効果が曖昧 ⑥児童の健康・安全面の不安 ⑦金銭面の負担 ⑧保護者の理解 ⑨教育委員会の了解 ⑩その他	自由回答	自由回答
仙台市立台原小学校	教頭	・生産者の工夫や苦労を知ることで、食や生活に対する意識が変わる ・他人とのコミュニケーションを図れるようになる ・他人に対する思いやりが生まれる	①ぜひ実施したい	「他人の釜の飯を食う」機会が減少しているため、ぜひ体験させて、自分の生活や家族との関係を見直す機会にさせたい。	①ぜひさせたい	左記と同じ。子どもを変えたい良い機会だから。	①教員の負担、③授業時間数の不足、⑦金銭面の負担、⑩その他(PR不足、知らない教員がほとんど)	・教員の研修機会(体験)を増やすこと ・初任研等でも組み入れること、それを補助金を削らないで、全員公費で受講できるようにすること。 ・児童の参加は(バス代も含めて)無料にすること。 ・管理職に研修させること。校長が「うん」と言わなければ実施できない。	
仙台市立荒町小学校	教諭	・農業の素晴らしさ、大切さ、農家生活の良さに気付く ・色々な人とかかわりから、感謝の気持ちや礼儀正しさが育つ ・命の大切さや自分の生き方について考えるようになる ・子ども同士のつながりが強くなる	①ぜひ実施したい	・子どもたちに絶対必要な体験だと思うから ・受入体制が万全で、安心だから	①ぜひさせたい	子どもたちにとって有意義な体験であり、すべての子どもに体験させたいから	⑦金銭面の負担 ⑧保護者の理解	・全学校へのPR ・農家を支える予算編成 ・カリキュラムへの位置づけ ・支援員の確保と研修 ・毎年、継続して実践を積む	ぜひ、ふるさと生活体験を実施したいと思いました。
私立東洋英和女学院小学部	教諭	・共同生活の体験 ・自然体験 ・農業体験 →自立心、仲間意識、規範意識、自然の価値の気付き	②まあまあ実施したい	個人的にはやってみたくが、勤務校の状況を考えて難しい。	①ぜひさせたい	現代の特に都市部の子どもたちに不足している経験をこの事業を通してやらせてあげたい。	③授業時間数の不足、⑤教育効果が曖昧、⑥児童の健康・安全面の不安、⑦金銭面の負担、⑧保護者の理解	すべての小学校で行っていくために、一定水準のクオリティを確保し、子どもや、送り出す保護者が安心して参加できる内容にする、また、内容について分かりやすく説明する場や時間を保証すること。特に「安心」については最も重視すべき点だと思います。	大変よい経験をさせていただき、ありがとうございます。今後も、肯定的にこのプロジェクトを見守ってゆきたいですが、課題も多いと思うので頑張ってください。
長門市立俵山小学校	教諭	・生活する力、生きる力をつけるもとなる ・自分の存在の有意義さも実感できる ・周りの人とのつながりを意識し、周りに優しくできるようにする ・自然や地域、ふるさとを今までよりも近く感じ大切にしたり、大好きになったりできる。 ・命を大切にできる力がつく ・人と関わろうとする力がつく ・家庭でつけることができていないしつけを教えてもらえる	②まあまあ実施したい	本当はぜひ体験させたい。しかし現在、地域連携で行っている地域学習に総合的な学習の時間のほとんどを割いている状況なので、学校生活や教育課程との調整が必要になる。	①ぜひさせたい	参加して、「ふるさと体験」の魅力が実感できた。そのよさをたくさん児童に味わってほしいと思うからです。	③授業時間数の不足 ⑦金銭面の負担	・学校に近い実施地域での体験会または見学会 ・県教委レベルでの推進体制(県で実施している、教諭まではなかなか周知されていない。また、管理職がどれだけ関心を持つかにもよるので、そのようなことを含めた推進体制) ・子どもの変容を具体的に知らせる	グリーンツーリズムの組織がしっかりして農家の方々の熱い思いを土台に、子どもたちがたくさん素晴らしい活動ができていること、本当に感動しました。参加して、大変よい機会に恵まれたことを感謝したいと思います。ありがとうございます。地域の方々と、持ち帰った話をしっかりしたいと思います。

長門市立俵山小学校	教諭	普段の生活ではわからない生産側の苦労や思いを実感する事ができると思います。また、社会の仕組みや働くことの意味など、体験やお話からより深く理解することができると思います。知らない方の家に泊めていただくことで、様々な考え方や生活の仕方があること、価値観などについて自分を振り返り、これからの自分の生き方にも何らかの効果はあると思います。	②まあまあ実施したい	とても有意義な体験で実施したいとは思いますが、総合的な学習の時間として実施が難しい状況なので、どのように教育課程の中で位置づけるか考慮が必要です。	①ぜひさせたい		③授業時間数の不足 ⑦金銭面の負担 ⑧保護者の理解	実際に「ふるさと生活体験」をしている様子をDVDにしてたくさんの人、学校に知ってもらうことは大切だと思います。見通しが持てないと活用してみようという考えにはならないので、内容や受入側の思い、安全・安心の体制を発信していくと良いと思います。	アスパラガスがあのようになっているのを初めて見ました。実際に収穫してみて、時期を逃さずとらないと伸びすぎてしまうこと、中腰の姿勢のきつさを体感しました。出荷の作業では、売り物としての厳しい規格を知りました。事業の関係者の皆さんの話の中で一番心に残っているのは「やるからには楽しく」ということです。大変なこといろいろあると思いますが、「楽しむ」という気持ちが、農泊、体験する子どもたちに伝わるのだと思います。大変お世話になりました。
仙台市立東宮城野小学校	教頭	・食の基本となる食材のもとと流れを知ること、食への関心を高め、食物への感謝の気持ちを育てる ・色々な方と関わることで、自分を振り返る機会とするとともにものの見方や価値観の違いを知ること、今後の自分の生活や生き方を見つめなおす。 ・都市部の児童は、日常的にあまり触れることがない働いている大人の姿を間近に見ることで、勤労の大切さを知る	②まあまあ実施したい	5年生の実施を想定すると、体験場所までの移動距離が実施の段階では大切かと思う。そこがクリアできれば内容的にも有意義なプログラムなので実施してみたい。	②まあまあさせたい	現在の子どもたちが引き起こす様々な問題を見ると、体験不足が大きく左右している。その点を考えても、ぜひこのような生活体験は、色々な学校で取り組むと良いと思う。	③授業時間数の不足 ⑦金銭面の負担 ⑧保護者の理解	・継続性…食費と交通費程度で実施可能な予算的措置、引き受け農家や漁師さんの拡大とその質の向上(今回の体験で事業趣旨をきちんと理解していたら、受入農家の大切さを実感しました。喜多方の皆様は素晴らしい！) ・夏休みが短縮傾向の仙台市では、それらの長期休業中にこのような活動が可能かと考えられるが、ていねいな保護者への説明が必要。	誰もが子どもの体験活動の大切さを認識しながら、学力テストをはじめとする学校の現在の状況を学校関係者、保護者、諸団体が共有していないのが現状である。そういった意味では、この実践に取り組んだ学校の実績(成果と課題)を明確にしながら、保護者に理解を得るための広報活動も必要かと思う。
仙台市立袋原小学校	主幹教諭	農業体験や農家の方との交流を通して働く意義に気付いたり、自立心が育てられたりと思う。	①ぜひ実施したい	ただ大規模校で勤務している現在、実現は難しい(児童の安全確保、活動の質の保証、職員の意思の統一、保護者の理解等、クリアすべき課題が多い)。	①ぜひさせたい		①教員の負担 ⑥児童の健康・安全面の不安 ⑦金銭面の負担	・行政からの経済的支援 ・教職員の意識改革 ・実践の積み重ね	今の子どもたちにとっては、人との関わり、食べ物との関わりについて学ぶことの重要性がますます高まっていると感じます。学校での道徳や食育等だけでは限界があり、このような体験を重視した取り組みを積極的に取り入れていきたいと思いました。
上島町立生名小学校	教諭	・子どもたちは、普段体験したことのない農業体験をすることで、スーパー等に並べられている野菜・穀物等がどのような人々がどのように生産しているのかを身をもって知ることができる(新しい発見をする)。 ・受け入れてくださる農家のおじさん、おばさんと関わり、触れ合うことで人の温かさを知る。 ・基本的な生活習慣(あいさつや与えられた仕事を責任を持ってやり遂げる)を身につけることができる。 ・自主性・自律性を伸ばすことにつながる。 ・農家の方々の活力につながる	①ぜひ実施したい	平成20年度、21年度と継続して実施したことで、少しずつではあるが、上記4の効果が見られているように感じるから。	①ぜひさせたい	「為すことによって学ぶ」体験活動は、子どもの「心」の成長に大きなプラスの効果をもたらすから。	①教員の負担、⑥児童の健康・安全面の不安	継続実施の場合、2年目以降も、1年目と同じ補助金を支給して下さるようお願いしたい。	受入農家の方々の熱意が伝わってきました。日本の子どもを「豊かな心を持ち、たくましく生きる」子どもに育てるために、何かお役に立ちたいという姿勢を持っておられることに敬意を表します。とともに、私たち学校(教員)側も子どもたちの実態をもとに、どのような力(心)を育てたいのか、教育的意義と方法をしっかりとプログラムし、実践していかなければならないと思いました。また、評価もきっちりとしていくことが大切であると感じました。
名取市立相互台小学校	教諭	・自立する子どもたちの姿が見られると思う。 ・体験して得たことから、子どもたちの興味関心が新たな方向に向くような気がするだけでなく、意欲的な面を育てることができると思う。 ・「ふるさと」ということに目を向けていくことで、自分の住む市や町の良さなどが理解できたらいいと思う。	②まあまあ実施したい	子どもたちが体験できる活動が多く、得るものが多いと感じる。野外活動として、短時間で同じような農業体験をしたりするのはその活動以上にこのふるさと体験のほうが良いと思われたい。	②まあまあさせたい	得るものを考えると、なるべく多くの子どもたちに体験させたい。ただ予算面や、申請(モデルになるため、補助を受けるための)の手続きなどが面倒すぎる。	⑦金銭面の負担、⑧保護者の理解、⑨教育委員会の了解	・普及していくために紹介用のDVDが欲しい。 ・市町村単位で紹介するための講座などを開催していけばよい	・補助を受けることができても、その申請が面倒であったり、市町村の教育委員会が動いてくれないと実施が難しかったりするので、より取り組みやすい制度にしてほしい。 ・長期的な取り組みを。
(株)農協観光GT東北駐在	シニアマネージャー	・おじいさん、おばあさんと「ふれあう」ことによる、思いやりの精神が育まれる。 ・「食」を作る現場を体験することによって、食べ残しへの反省や農家に対する感謝の気持ちが芽生える(農業理解、田んぼの多面的な機能など)。 ・子どもたちの豊かな人間性や社会性を育む。			①ぜひさせたい	・子どもの未来のために必要な活動(体験)である。 ・日本の農山漁村を救うために重要である。		①学校へのPR(モニターツアーも含む)、DVDの作成、配布 ②「子プロ」の申請手続きや精算処理の簡素化 ③受入農漁家への支援(ボランティア・スタッフ) ④一般者へのPR(TVCM、国民運動) ⑤旅行会社の関与	
(特)教育活動総合サポートセンター	理事	①自分自身と良く向き合うことができ「自分に気づく」自己理解の力が育つ。 ②自然や環境に対する感動や疑問や不思議などを体験することができる。 ③他者に対する思いやりの心や協調性が育つ。 ④自己責任力が育つ ⑤「ありがとう」「おかげさま」など生きた言葉が自然体で発信できる子が育つ。			①ぜひさせたい	異年齢、複数の学校の、不登校や不適応な児童生徒などが参加し、学力・適応力を身に付けさせ、学校に復帰させるためのNPO法人を立ち上げ、現在6年目を迎えている。予算の問題もあるが、ぜひ帰って仲間同士(元小中学校長20名余)と話しあって計画化したい。		文科省や教育専門家(大学教授等)の意見を採り入れ、教科時数や内容の弾力的運用を学校に可能にする指導要領を作成し、「ふるさと生活体験」のカリキュラム化が容易にできるように改めてほしい。教科知識編重の現状ではまだまだ不十分である。	三省一体の企画はずばらしいものと考えられる。道徳教育のイデオロギー論よりも、こうして、日本と日本人のふるさとに直接触れさせることは、何よりの道徳教育だ。学校に行かされて、勉強させられてばかりの今の「受身教育」で育つ子どもがなんと多いことか。参加した校長や学校の教職員の姿勢が子どもたちを通して、また、保護者や地域まで、この体験が大きな変化をもたらすと思う。

(特)教育活動総合サポートセンター	理事	・農業体験は、子どもたちに土になじみ、自然と関わるとても良い方法と思います。 ・農泊は、核家族の多い家庭において、3世代の異年齢の方々が交流できるメリットは素晴らしいことと思います。子どもたちがなにげなく食べている農作物の栽培に苦労や思い、知恵が働いていることを体感できる。 ・教育効果としては、子ども同士の人間関係の深まり、自主・自律性の高まり、自然に対する味方の深まり、人・ものに対する感謝の気持ち、社会的規範の醸成(育成)の一助となる。						・指導引率する教師、指導者が、下見をし、実体験をする中で、あらかじめ子どものつまずきを取り除くことができるし、事故の予防や実施計画を立案しやすいと思います。 ・農家と交流する学校とのコーディネートの一層の充実(事務処理や受け入れの際の窓口の充実)。 ・各都道府県、各市町村学校へのPRの充実 ・町内会、自治会等の子ども会へのPR	・子どもを育てるために大変有意義な取り組みと考えます。学校のカリキュラムとの兼ね合いもありますが、学校職員、受入農家の方々とコーディネータ3社との打ち合わせ会の実施の充実が大切。 ・農泊の農家の方々の「子どもを育てる取り組み」に対する情熱の素晴らしさに感心をいたしました。 ・軽度の障害を持った児童・生徒(アスペルガー、自閉症等)の参加は可能かどうか。
国立磐梯青少年交流の家	企画指導専門職	・野菜は、スーパーに売っているものという認識から、生産者がいて、はじめてできるものということを実感できるのではないかと思います。 ・全く知らない人の家に入るといことは未知の経験であるので、新しく気づくこと、学ぶこと、感じることもあるのではないかと思います。 ・第2のふるさとができる。			①ぜひさせたい	大人の私も、新しい発見や気づきがあった。昔ながらの生活を知らない子どもにとっては、さらに得るものが大きいのではないかと思います。		・関係者以外の方に「ふるさと生活体験」のことは知ってもらいたい。それにより、新しい協力者も出てくるのではないかと思います。様々な場面で融通がきくのではないかと思います。 ・参加者家族の経済的な負担を少なくする。	貴重な体験をさせていただきありがとうございました。警備青少年交流の家も、ぜひ、喜多方市の力を借り、事業を実施していきたいと考えております。
(社)農村環境整備センター	研究員	文字通り「生活体験」ですので、人間としての基本的な部分の育ちにつながるのだと思います。初めて会う大人と短い時間でも生活を共にすることで学べることも大きいと思います。短期的に見て、かつ、データで表現できる効果があるかどうかわかりませんが、実施する意味はあると思います。			②まあまあさせたい	本来家庭や地域で行うべき事かと思いますが、家庭も地域も担えないのであればやむを得ず…と考えます。ただ、学校現場の実情を考えると「普及させてくれ」というのは酷な気もします。		私は教員ではないので詳しいことはわかりませんが、漏れ聞こえてくる教育現場の実態を考えると本当に推進するのに必要な(学校の)体制をきちんと整えなければならぬのではないかと考えます。保護者の理解を得るのも難しいです。また、段階的実施(農業体験→日帰り体験→1泊2日→長期など)を積極的に支援していくことも必要かと思いますが、「段階的実施」ができるほど学校が長期目標を立てられるかどうか、これもまた現実には相当困難でしょうか(教員の異動で方針が変わるといった話もよく聞くので)。	とても良い試みだと思いますが、実行にはかなりの困難があると思います。保護者、教員、学校、みんなが意識をガラリと変えないと難しいかという印象です。受入地域の側も農村、地域の状況を深く理解して長い目で地域づくりのプランニングができる優秀なコーディネータ、プランナーがいないと難しいですね。5年どころではなく10年、20年、30年かける必要があるのではないのでしょうか。そのくらいの長期スパンでじっくり取り組まないと無理だと思います。こういった取り組みが当たり前に行ける社会を作れたら良いですね。
郡山市立桃見台小学校	教諭	・ある程度長い期間学校から離れて子どもたちが他の地域やそこに住む農家の方などから学ぶことは大変有意義だと思います。教育は学校だけがしているものではないということを学校・子どもたちが知るの大切なことだと思います。 ・偏った生活経験や体験、狭い経験や体験を広げる一つのきっかけだと思います。その効果をたくさん発信していくことで、さらにグリーンツーリズム、ふるさと生活体験が充実していくことを期待します。	①ぜひ実施したい	あくまでも個人的立場での意見です。子どもたちの生活体験(農業体験やその他の体験的活動)は限定的で個人差が大きいと思います。また知識的な学力が重視される傾向にある中、このような体験はとても有意義なことだと思います。さらには学校主体でない地域や農家の方の教育を採り入れていく意味は大きいと思います。	①ぜひさせたい		①教員の負担、③授業時間数の不足、⑥児童の健康・安全面の不安、⑦金銭面の負担	・上記に関係しますが、管理職が口にし、心配するのが子どもたちの安全確保だと思います。何かあったらどうするというのが一番のネックです(だれが責任をとるのか、安全性は万全かなど)。 ・時間の確保は大きな問題です。校内だけでなく対外的な行事が立て込んで中、その時数をどう作り出すか創意工夫が必要になると思います(発想の転換ができれば可能なかもしれませんが)。 ・学校現場の立場から見ると、文科省や教育委員会が本腰を入れて推進していかないと利用しにくいように思います。今のところ、積極的に取り入れていくようにという体制や意識はほとんど感じられません。また、自分の学校が先駆けてやってみようという意識は低いように思います。	
独立行政法人国立青少年教育振興機構	課長	あいまいな表現で恐縮ですが「日本の良さ」、言い換えれば日本の古き良き家族、日本の伝統的な風土、生活慣習、価値観に触れることができ、原体験として心に残ること。							農家等への民泊の意義は、その家のお人柄に触れること、生活体験や心の交流が重要な意味を持つので、ある意味、商業化・プロ化されないほうが良いのではないかと思います。素朴さを持ちながら、事業として高度化されていく方法を探っていきたいと思います。また、喜多方の皆様の親切なご対応に心から御礼を申し上げます。お世話になりました。

※回答内容の公開を拒んだ参加者の分はここで掲載していません。